

〈H20-6-A : 問題〉

次の文は、地図の投影について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。
次の中から選べ。

1. 投影法は、投影面の種類によって分類すると、方位図法、円錐図法及び円筒図法に大別される。
2. 平面上に描かれた地図において、距離（長さ）、角度（方位）及び面積を同時に正しく表わすことはできない。
3. 同一の図法により描かれた地図において、正距図法と正角図法、又は正距図法と正積図法の性質を同時に満たすことは可能である。
4. ユニバーサル横メルカトル図法 (UTM 図法) と平面直角座標系で用いる投影法は、ともに横円筒図法の一つであるガウス・クリューゲル図法である。
5. 正距図法では、地球上の任意の 2 点間の距離を正しく表すことができる。

〈H20-6-B : 問題〉

次の文は、地図の種類と表現方法について述べたものである。 ～ に入る語句の組合せとして最も適当なものはどれか。次の中から選べ。

は、地形の状況や交通施設・建物などの地物の状況。地名・施設の名称などを に従って表示し、 に使用できるように作成された地図をいう。

は、特定の主題内容に重点を置いて表現した地図をいい、 を の として用いることが多い。

特殊図は、 や の分類に入らないその他の地図である。例えば、視覚障害者地図（触地図）、立体地図などをいう。

とは、地図を表現する際の約束ごとをいい、地図で表示する記号や文字などの表現様式を規定している。

	ア	イ	ウ	エ	オ
1.	主題図	編集	多目的	一般図	編集素図
2.	主題図	図式	特定目的	一般図	基図
3.	一般図	図式	特定目的	主題図	編集素図
4.	一般図	図式	多目的	主題図	基図
5.	一般図	編集	多目的	主題図	編集素図

〈H20-6-C : 問題〉

図 6－1 は、国土地理院発行の縮尺 1/25,000 地形図の一部(原寸大, 一部を改変)である。次の文は、この図に表現されている内容について述べたものである。正しいものはどれか。次の中から選べ。

1. JR線は複線である。
2. 市役所と老人ホームの標高差は約 130mである。
3. JRからすやま駅の南側には発電所が隣接する。
4. 市役所の西側約 350mに裁判所がある。
5. 標高 199.4mの三角点と標高 93.1mの三角点の間の直線距離は約 2.0km である。

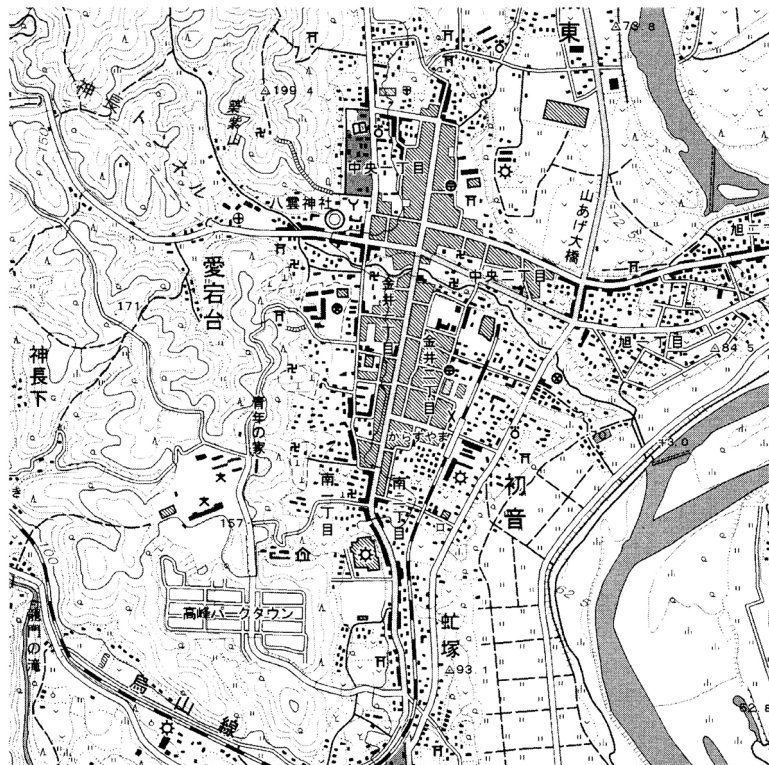


図 6－1

〈H20-6-D : 問題〉

次の文は、地理情報システム（GIS）に用いられる空間データについて述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. スキャナを用いて取得した画像データや衛星画像データは、一般にベクタ形式の空間データである。
2. ラスタ形式は、一定の大きさの画素を配列して、位置や形状を表すデータ形式である。
3. 地理情報標準は、空間データの互換性を確保するために必要な事項を規定したものである。
4. クリアリングハウスは、メタデータ内に記述されている空間データの所在、内容、利用条件などの情報をもとに検索を行うための仕組みである。
5. 空間データの品質評価の結果をメタデータに記載することで、その空間データを利用する者が、他の目的で利用できるかどうかを判断することが容易になる。